

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年11月30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3990100277
法人名	株式会社 アイ・エム・シー
事業所名	IMCグループホーム 高須
所在地	〒781-8104 高知県高知市高須2丁目14-7
自己評価作成日	平成21年8月7日
評価結果市町村受理日	平成21年12月11日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年8月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3990100277&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームを開業して1年経過しますが、私たちは、ご利用者一人ひとりのその人らしさを尊重し、ご利用者のペースに合わせたケアに努め、入居者の方々と共に暮らす姿勢と、入居に至るまでのご家族の様々な思いを受止めご家族の心のケアも大切に考えています。また、いきいき百歳体操やデイサービスセンターの利用者との交流やホームの地域新聞の発行や行事のご案内をしたり、小学校との関係づくりに取り組むなど、地域との交流に努めていきたいと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

周囲が商業地域のため、事業所周辺の住民との交流が取りにくいにも関わらず、事業所立ち上げ当初から地域との交流に力を入れており、地域新聞を発行したり行事のチラシを配布するなど、事業所を理解してもらう工夫をしている。また、併設されているデイサービスセンターや町内会のいきいき百歳体操の場所としてホールを開放するなど、地域社会とのつながりを大切にしている。開設して1年目を迎える新しい事業所であるが、管理者はじめ職員一同で住みやすい事業所を作り上げていく意欲が感じられ、今後も地域に溶け込む更なる努力とモットーである「あたたかな家庭的環境のもとで暮らす家」を目指すことを期待したい。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	経営本部の基本理念に沿って、ホーム独自の地域密着型サービスの理念があり、それに向かい日々努力している。	事業所独自の理念を作り上げ、職員採用時や新任研修、毎日の朝礼で理念を繰り返し振り返っている。また、フロア会やカンファレンスを通じてプランに反映させ、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会主催のいきいき百歳体操に交流ホールを開放し、地域の参加者や1階のデイサービス利用者と交流している。また地域新聞を発行し、餅つきなどの行事を通じた交流をしている。	事業所周辺は商業施設が多く町内会はないが、隣接地域の町内会との繋がりを大切に、地域の行事にも積極的に参加している。また、いきいき百歳体操の参加者や併設のデイサービス利用者と交流するほか、事業所の地域新聞やチラシを配布し、行事等に地域住民の参加を得るなど交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所の行事やいきいき百歳体操の参加の地域住民から相談がある場合は対応させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で活動状況など報告し、メンバーから意見や提案があり、サービスの向上に活かしている。	事業所からの運営状況等の報告や話題を提供し、参加委員からも積極的に質問や意見が出され、双方向的な会議となっており、事業所運営の理解やサービスの向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議やグループホーム連絡会を通じて関係を築くほか、運営等について相談している。今後も協力関係づくりに取り組んでいきたい。	事業所の運営やケア事例について相談するなど、行政や地域包括支援センターとの協力関係を築くよう努めている。	事業所の開設や運営に当たって、市の指導や助言を受け、また、事業所としても協力関係を築いていく姿勢が窺えるので、今後も、さらに行政と連携した取組みを期待したい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	独自の身体拘束マニュアルを作成しフロアに掲示するとともに、フロア会やケアを通じてその都度話し合い、勉強会も予定するなど徹底している。また、夜間の戸じまり以外は自由に出入りできるようにしている。	事業所独自の身体拘束マニュアルに基づき、フロア会や勉強会の機会に、様々な身体拘束に関する学習を通じて理解を深め、日常的にも現場でその時々に応じて身体拘束をしない対応について話し合い、取組みを徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待防止について、フロア会や勉強会で学ぶ時間を持っており、特に、日常のケアでは言葉がけに注意するよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は成年後見制度研修を受け、現在、制度を活用している利用者もおり、職員とも情報共有している。今後も職員に周知するためフロア会などで取り上げていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には個別に、重要説明事項や契約書について十分な話し合いの時間を持ち、理解と納得をいただくよう配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情受付窓口や外部の受付機関の説明も行っている。また、ホーム内には苦情箱の設置するとともに普段から遠慮なく意見等と言える関係をつくるよう努力している。	家族会や家族の来訪時のほか、いつでも家族等の訴えを汲み取るようにしているが、事業所へ直接意見等は出されていない。	家族は身内が世話になっていることから、意見や要望を言い出し難いため、いろいろな方法や場面で意見等を気軽に伝えられる機会をつくることを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	福利厚生委員会と合同で年1回職員のアンケートを実施している。また、個人面談やフロア会を通じて意見の吸い上げに努めている。	法人全体の職員アンケートや職場での個人面談、フロア会で職員の意見を汲み取るシステムができており、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤職員の正社員化や昇給・昇格、評価制度を見直し、個人面談を通じて職員のやりがいや向上心のアップに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	上司からの推薦や職員の希望に応じて外部研修に参加できるよう配慮している。また、ホーム内でも月1回勉強会を開催し、テーマに沿った学習をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	地域のグループホーム連絡会に加入し、合同の勉強会や研修に積極的な参加し、サービスの向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	事前にアセスメントを行い、状態の把握に努め、不安や要望を聞き入れ利用者との信頼関係を築くよう努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入居相談から利用開始に至るまでに、ご家族の迷い、不安、悩み等に真剣に向き合い納得いただくまで話し合い、関係づくりに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	入居相談を受けた際には、状態に応じた最善の方法を家族と一緒に探り、入居に適した時期であるか、他のサービスの利用が可能性であるかなどの検討を行っている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	人生の先輩として得意なことなど、共同生活の中で役割を持っていただき、職員が利用者から習うなど、共に暮らすものとしての姿勢を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員の日頃の様子を伝える手紙や家族会を情報提供の場として、利用者の暮らしぶりを伝えるとともに、家族と一緒に寄添っていくよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室を利用したり、教会からの面会も自由に出入りしてもらするなど、これまでの関係を継続できるよう支援している。	家族の来訪だけでなく、友人、知人の来訪が度々あり、また、友人に誘われて同窓会への出席を支援するなど、入居以前からの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食器洗いや洗濯物たたみを利用者同士で助け合ったり、部屋で談笑するなど、関係や場面を崩さないよう気をつけるとともに、状況に応じて職員が仲立ちをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居した場合のアフターケアのマニュアルを作成しているが、現在、該当がない。（2F） 退去時の相談に応じ、退去後も訪問したり、手紙のやりとりをしている。（3F）		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話や表情などから利用者の思いや意向の把握に努め、困難な場合は、家族等から意向等の把握に努め、その人らしい暮らしを支援している。	小物や雑巾の縫物、部屋の表札づくり等、利用者が得意な分野で力を発揮できるよう場面づくりをし、作品を展示することで意欲を支えていくよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の生活歴等の情報を収集し、年表を作成している。また、これまでのサービス利用の経過等についてもケアマネージャーや病院より情報をもらっている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の利用者の暮らしや心身の状況等について、職員間で情報を共有し、個々に合わせた支援ができるよう努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の意見も聞き、日頃のフロア会や月1回のカンファレンスを通じて、介護計画を作成している。また、利用者の状況に応じてその都度見直している。</p>	<p>利用者、家族の要望等も踏まえ、フロア会やカンファレンスを通して利用者一人ひとりの状況等の把握と意見交換を行い、介護計画に反映させている。また、状況の変化等に応じて、随時見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や変化は分かりやすくケース記録に残すとともに、申し送りなど職員間で情報を共有しケアや介護計画の見直しにつなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>他のサービスの利用などニーズに応じ、家族の理解を得ながら取り組んでいる。(2F)</p> <p>希望があればその都度方法を考え取り組み、柔軟に実践している。(3F)</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議の地域代表者や民生委員を通じて利用者を支えていく関係づくりに取り組むとともに、ホームからも消防署や小学校に協力を依頼するなど関係づくりを進めており、今後広げていきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームとしても入居時にかかりつけ医の受診継続を勧め、利用者、家族が希望するかかりつけ医を利用している。必要に応じて手紙などで家族に情報提供を行い、受診の際の情報が共有できている。</p>	<p>本人、家族が希望するかかりつけ医で受診できるよう支援している。基本的には家族が同行し、家族には文書で日常の健康面の情報提供を行い、主治医からも文書で返信をもらい受診結果を記録し、ケアの情報として役立てている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員が週2回勤務している。また、それ以外にも利用者の状況に応じて連絡がとれる体制となっており、報告、相談しながら支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は定期的に面会を行うとともに、看護職員やフロアの職員が医療機関と連絡をとり退院見込み等の情報収集や医療機関との協力関係に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化や終末期の指針について、契約時に説明を行い家族等と共有しているが、現在、事例はない。	契約時に重度化や終末期の指針について家族等に説明し同意を得ている。なお、昨年、事業所が開設して以来、現在までに取り組みの事例はないが、管理者は同一法人の他の事業所での看取りの経験があり、支援体制の心得ができています。	契約時に重度化や終末期に関する説明等については十分に行われているが、今後も本人や家族、事業所側の状況が変わる度に、家族会などを活用して話し合いを行い、対応の確認や関係者間で意向を共有していく取り組みを期待したい。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し、実践力を身につけ自信が持てるよう勉強会・研修を行い努力している。(2F)</p> <p>実践力が身につくよう勉強会を通じ取り組んでいるが、職員一人ひとりが自信がもてるよう繰り返していく必要がある。(3F)</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	防災マニュアルを作成し、非常用食料等の備蓄をしている。また地域の消防団の協力を得て防災訓練を行っている。地域住民の参加等について運営推進会議のメンバーを通じて呼びかけ、地域新聞でも協力をお願いをしている。	消防署の協力を得て防火・避難訓練を実施している。地域住民の参加については、運営推進会議や地域新聞で協力を呼びかけているが、参加は得られていない。	災害時には、地域住民の協力が欠かせないので、引き続き、事業所の防災訓練に地域住民の参加を呼びかけていくとともに、更なるステップアップとして夜間を想定した避難訓練の実施も検討されることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけの言葉やトーンに注意して年長者に尊敬の念を持って対応し、利用者の人格を尊重し、プライバシーを損ねないように努めている。	プライバシーの確保や人格の尊重の基本である言葉使いに十分に気をつけるようフロア会等で徹底し、職員は、利用者を人生の先輩として尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活のなかで、スタッフ本位にならないよう気をつけ、利用者の意思で選択できる場面づくりに配慮している。(2F) 買い物の際に、衣類やおやつを利用者自身で選択できるよう支援している。(3F)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先せず、利用者一人ひとりのペースや意思を尊重し、柔軟に対応するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理・美容の利用や、季節にあった衣類など、その人らしい整容や化粧ができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の出来る範囲の役割を持ってもらい、食事の準備、片付けを主体的に取り組んでもらうよう支援している。	食材搬入は外部委託しており、あらかじめメニューを決めているが、利用者の希望により変更したり追加することもある。利用者は食事の準備、片付けを進んで行き、楽しい食事の時間を過ごしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が立てている。水分や食事の摂取状況をチェックし、必要に応じて間食などで補うようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の後に声かけし、利用者一人ひとりに応じて、見守り、一部介助するなど、口腔内を清潔に保もてるよう支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表でパターンを理解し一人ひとりに応じた支援をしている。リハビリパンツから布パンツへ替える支援も行っている。	排泄チェック表を基に、利用者一人ひとりの習慣やパターンを把握し、声かけ等の支援を行うとともに、布パンツへの変更や食事や腹部の張りを観察するなど、排泄支援の方法を検討しながら取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材や水分摂取、ヨーグルトなどでおやつに補うとともに、ラジオ体操や廊下の歩行など運動を取り入れ、予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ希望の時間帯に入浴できるように支援し、朝風呂を利用している場合もある。入浴の苦手な方でも最低3日に1回は入浴できるように声かけのタイミングに工夫し、フットバスや清拭など取り入れている。	出来る限り希望の時間帯に入浴できるようにし、朝風呂など利用者の習慣に合わせて柔軟に支援している。入浴拒否の利用者には、声かけの工夫やフットバスの利用など、入浴を楽しむことができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温の管理や水分補給に配慮しながら、利用者が一人ひとりの生活リズムに合わせ自室でゆっくり休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の指導により、用法や薬の変更内容を記録表や日誌で確認するなど、職員間で共有するとともに、服薬による状態の変化等の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の家事活動や買い物、散歩、花の手入れなど、利用者が生きがいをもって過ごせるよう支援している。また、嗜好品のたばこを吸ったり、ドライブや行事など楽しみや気分転換が図れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日々の散歩や買い物の外出など利用者の希望に応じた支援を行っている。また、外食やドライブ、家族の協力で自宅やお墓参りに出掛けるなど支援している。</p>	<p>量販店に買い物に行ったり、事業所の近くを散歩するなど、日常的に外出をしているが、年間行事に沿って、地域行事等の見学やレクリエーションを兼ねて外出している。また、家族の協力で美容院や墓参り等に出かける支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームで預かることを基本としているが、利用者の希望で本人が管理している例もある。また、買い物時に本人に渡し、利用者自身で支払いするなど、個々に応じ柔軟に対応している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の希望があれば、いつでも電話できるよう支援しており、毎日電話をしている利用者もいる。また、友人との手紙のやり取りを支援している事例もある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者と一緒に季節感のある飾り付けをしたり、こまめに室温調節を行い、利用者が居間、食堂でゆったり過ごせるよう、家庭的な雰囲気づくりに努めている。</p>	<p>居間、食堂でゆっくりくつろげるよう、ソファやテーブル、椅子の配置を工夫し、利用者の好みに沿った季節感のある飾り付けをし、特に、室温調節に配慮するなど、居心地の良い共用スペースとなるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人でゆっくり過ごせるよう居間のソファの配置を工夫したり、気の合う利用者同士が並んで座れるスペースを確保するなど、思い思いにくつろげるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた馴染みの家具を持ち込み、家族と相談しながら、その人らしい居心地のよい居室づくりをしている。</p>	<p>利用者一人ひとりの使い慣れたたんすや鏡台、椅子などを持ち込み、キルトや写真等を飾るなど、それぞれ个性的で居心地の良い居室となるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者にとって分かりやすい表示をし、安心して生活できるよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名 2 F	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20,)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

V アウトカム項目		ユニット名 3F	
項目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない